

○財務比率比較表

	比率	算式	評価	目的	2010年度	2011年度	全国平均 2010年度
貸借対照表関係比率	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	資産構成	78.9	78.9	87.0
	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	△	資産構成	21.1	21.1	13.0
	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	▼	負債の割合	7.1	6.4	7.4
	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	▼	負債の割合	2.3	2.2	5.5
	自己資金構成比率	$\frac{\text{基本金+消費収支差額}}{\text{総資金}}$	△	自己資金の充実度	90.6	91.4	87.2
	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	△	自己資金の充実度	-10.0	-11.6	-9.3
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	▼	長期資金で固定資産は賄われているか	87.1	86.3	99.8
	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	▼	長期資金で固定資産は賄われているか	80.8	80.7	92.1
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	負債に備える資金の蓄積	929.1	969.3	236.6
	総負債比率	$\frac{\text{固定負債+流動負債}}{\text{総資産}}$	▼	負債の割合	9.4	8.6	12.8
	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	▼	負債の割合	10.3	9.4	14.7
	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	△	負債に備える資金の蓄積	1,161.6	1,110.1	305.8
	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	△	負債に備える資金の蓄積	101.3	101.6	69.4
	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	自己資金の充実度	97.4	97.7	97.0

	比率	算式	評価	目的	2010年度	2011年度	全国平均 2010年度
消費収支計算書関係比率	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	▼	支出構成は適切か	72.2	72.5	52.9
	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒納付金}}$	▼	収入と支出のバランスはとれているか	108.4	106.6	72.0
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	△	支出構成は適切か	25.2	24.2	30.9
	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	▼	支出構成は適切か	10.7	11.6	8.8
	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	▼	支出構成は適切か	0.5	0.4	0.4
	消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	▼	収入と支出のバランスはとれているか	113.4	110.1	110.5
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{帰属収入}}$	～	収入構成はどうか	66.6	68.0	73.4
	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	△	収入構成はどうか	1.6	1.6	2.6
	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	△	収入構成はどうか	22.4	20.6	12.4
	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	△	支出構成は適切か	3.8	1.1	13.4
	減価償却費比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	～	支出構成は適切か	12.9	12.8	11.5

・資料 平成23年度版今日の私学財政(日本私立学校振興共済事業団)

・評価 △高い値が良い ▼低い値が良い ～どちらともいえない